



第 42 号 平成 9 年 11 月 20 日
発行所 式 所
平 成 9 年 11 月 20 日
平 成 9 年 11 月 20 日
平 成 9 年 11 月 20 日
平 成 9 年 11 月 20 日

瀬田の名建築家

誠之堂

世田谷は緑の多い所です。が、特に瀬田南部の国分寺山は緑が濃く、大木が主い茂り、武蔵野の面影を残している。

STメリーズ・インターナショナルスクールの敷地の一隅に、建築学上重要な建物がある。

第一国立銀行（現第一勧銀）の創立者沢沢一之助を記念して建てられた「誠之堂」は、118.7mのレンガ造りの平屋建てで、反った大屋根や出窓に特徴があるという。又、その隣には鉄筋コンクリート造りでスパイン風様式の「清風亭」がある。何れも日本風にアレンジされ、国内で他に類をみない建築であり、「文化的、社会的価値が極めて高い」と評価されている。

最近、老朽化したため、取り壊される計画があったが、各方面の団体からの要望によって、取り敢えず残されようである。

めでたし、めでたし。

（鈴木重）

地域にアートホール

童謡の歌声が奏しく響き、ピアノの優しい音色が聴こえる場所、それが上野賀アートホールです。

また、音楽の発表、練習以外にも、夏は児童映画会、秋は話し方コンクール、そして冬にはカラオケを使ったパーティや、他に演劇、ダンス、日本舞踊、会議展示など様々な目的で利用していたに似ており、118席の小さなホールなのに、舞台の上の人も、客席の人も、一緒に楽しんでいることが出来ます。

皆さんもアートホールで「芸術」してみませんか？

坂田 正彦
上野賀アートホール

ちこと寄り道

玉川台児童センター

生涯学習の場、「区民センター」は、幼児から老人までが楽しめる施設に、施設です。

「子どものお城」として、いろいろな催し物がある児童館と学童クラブが二階に、「あなたの読書のお手伝い」に七万冊以上を揃えてお待ちする図書館が三階に、そして、七〇余の趣味や健康づくりの会が揃う地域団体活動と集いの場と、小学生から大人まで楽しめる卓球場、老人の語らいの場、休養室などがある区民センターが一階と地下に、皆様どうぞご利用下さい。



大塚 秀
玉川台児童センター
生涯学習の場

用賀区民集会所

湖ビル群の北の端の一角に、用賀区民集会所があります。建物の中は、高に覆われた中庭に面する小会議室、くすの木公園を眺められる中会議室、そして、地下には大会議室と、何時でも誰れでも利用できるロビーがあります。

この集会所を活動の拠点としているのは4団体という事です。

スポーツに汗を流す人、趣味の学習などに励む人など、生きがいと求む、仲間と楽しいひとときを待つ、集いの場として利用されているようです。

（折原）

秋の広場

秋は美術館へ

二子玉川園を基点にしての美術散歩をご案内します。まず玉川高島屋5Fの美術サロンでは、常時、個展が開かれています。駐車場ビルの「アレナホール」は、不定期ですが、ご注意を。すぐ隣の名川ビル「ファン・アート」も画廊です。

世田谷美術館行きの東急コーナで、静嘉堂文庫の展示室を覗いて区立美術館へ。又、東急五島美術館へは徒歩で十分ぐらいです。

駅のホテルから、岡本太郎作の「岡本かの子記念碑」が遠望できますよ。



（池田）

現代版 木枯らし紋次郎

枯れて吹かれて覆はされて、浮世はつらい。冬木立、続く季節はとしの暮、春から続く不況風、新聞がネは尽きません。

いやな事件の目白押し、泥棒、殺人、通り魔事件、デパート売上げの悩み、改造内閣でできたけど、大臣さんのお出入り、国会政界サア大変、ある新聞にありました、コドモの教育、体力は10年前より下り坂、走力、跳力、握力も、根気も奮起も忘れがち、微温湯ぶりに居るような若者ふえていると言ってます。

探してみても居る相な、だから弱虫コロコロッ、危険はみんな他人まかせ、行政どうした、回、どした、なあって責任なすり合い、ボクは良いのに、彼が悪い、足じゃ出来ぬが当りまえ、学校家庭も近所も、黄門さまじゃあるまいし、男に七人敵がいる、人を見たら泥棒と思へ、ひとの振り見て我より直せ、ウツカリするな、シッカリと、昔の人は言いました、此の世生きるは我自分、自律精神をたてまし、夢、心なぞほど程に、上手に主として手際よく、そして此の世、先ず健康、行く手明るく、マ、マ、マ、進め彼岸のパラダイス、あじは、かわり、せん、小ぎ、風の音、幕

“ひろば” ご希望の方は 用賀出張所においでありますので どうぞ

回覧

郷土紹介

新制中学五十歳

今年に戦後の学校教育法が公布されて五十年、所謂六三制に基づく新制中学校も五十歳を迎えました。

私たちの町でも昭和二十二年五月、二つの新制中学校が誕生しました。一つは都立横田高校の校舎に間借りして出来た六年度の横田中学校、もう一つは二子玉川小中学校内に出来た二年度の二子玉川中学校です。

横田中学校の場合、京西小中学校区域に所属小中学校の一部学区が加わった為、生徒数は三〇〇名を超え、教室は不足し、二部授業も行なわれました。

新制中学校の生徒達は、

教材教果も充分とは云えませんでした。民主主義教育のもと、男女共学で兼し、中学一年を過ごしました。

そして、翌、昭和二十三年六月、瀬田の地に独立した公立中学校の建設が始まりました。敷地は約四六〇〇坪、教室数十五の木造校舎が同年十二月に完成、横田二子玉川両中学の生徒達は、職の行列の様にこの瀬田中学校に引越しました。

その後、年毎に生徒数が増加、昭和三十三年の四月用賀に六教室の分校が開校して、一年後、用賀中学校として独立しました。

そして今、私達の町に、瀬田中、用賀中が大きく育っています。

(飯田)

トビックス

沿区の資源回収スタート

10月2日、上用賀町会に30ヶ所のリサイクルステーションが開設、区による資源回収が始まった。出張所管内では既に資源回収が盛んだが、資源保護、東京のゴミ問題の今後を考えると心強い。瀬田一、二丁目でも準備中。いづれは管内全境へ、協力可能な方は出張所まで。

沿線、瀬田に温泉が湧いた

瀬田四丁目目温泉が湧いた話に本紙40号で紹介した。いよいよ11月21日にオープン。「山河の湯」と命名。露天と内湯があり、効能も皮膚病から腰痛まで幅広い。入場料など詳しくは瀬田温泉「山河の湯」(三ノ木八六三)まで。



紅葉から初冬へと移りゆくこの時季、何をすることも気持ちの良い日々です。

「ひろは」前号では管内の施設を利用して活動する方達の生き生きとした姿を特集致しましたが、今号では活動の拠点となる施設のご紹介をしてみました。

今日からでも、何かを始めようと考えておられるあなた！

お近くの集いの場を、ちょっぴり覗いてもらいましょう。

(折原)

利用はう身ぢかな文化施設

(私立の学校も含む)

